

戦前の比治山より広島市内を望む

平成 29 年度
第 1 回
収蔵文書の紹介展

広島 of 歴史的風景

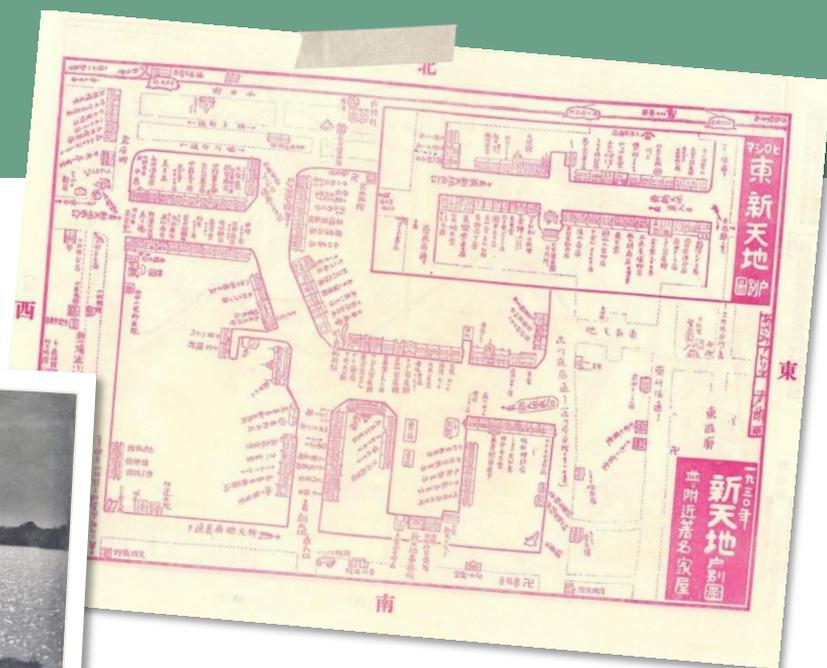
— 文書館収蔵の絵はがきから —

～ 2017 年 10 月 3 日 (火) まで **開催延長!**

※日曜・祝日は休館です。



大正末～昭和初期頃 本通り商店街



入場無料



明治末～大正初期頃 太田川

広島県立文書館展示室

広島市中区千田町 3 丁目 7-47 広島県情報プラザ 2F

広島市の歴史的風景 — 文書館収蔵の絵はがきから —

広島県立文書館では、戦前の広島県内の様子を写した絵はがきを約 2,500 点収蔵しています。絵はがきの流行は、日露戦争後に本格的に始まり、明治末から昭和のはじめにかけて、大量に発行されました。これらの絵はがきは、当時の観光みやげとして、また、行事や施設の記念品などの形で流布したのですが、今日では、写真撮影が一般に普及していなかった時代の貴重な画像資料となっています。また、文献・文字資料では分からない、風景の移り変わりや、建物・街の経年変化を知ることができ、歴史資料としても有用な情報を提供してくれます。

この展示では、文書館が収蔵する絵はがきの中から、広島市内の様子を写したものを中心に紹介し、現状と比較することで、そこに写された歴史的風景と絵はがきの資料的意義について考えてみることにします。

元安橋(中区大手町～中区中島町)

元安橋は、山陽道沿いの要衝の橋として、すでに毛利氏時代から木橋が存在し、明治期以降も中島地区と本通をつなぐ橋として重要な役割を果たしてきた。



現状

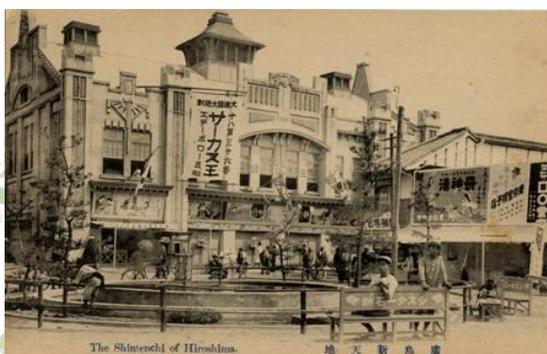


地御前海水浴場(地御前神社)

大正 14 年(1925) 7 月、広島電鉄宮島線の終点として地御前駅が開業し、地御前海岸は広島郊外の海水浴場として賑わいを見せるようになった。



現状



日進館(広島新天地)

新天地開場とともに設けられた洋画専門館。開館間もない大正末頃の絵葉書。音楽部も有名で、外国人楽士を交えた演奏が行われた。



広島県立文書館

開館時間 9:00～17:00(土曜日は 12:00 まで) ※日曜日・祝日・休日は休館

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47 / TEL 082-245-8444

E-mail monjokan@pref.hiroshima.lg.jp / URL <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/>